

ありがとうございます!! 地域みなさんにお世話になっています!!

西大路小学校の子どもたちは1年間を通じていろいろな体験学習を行っています。

かつては、毎日の生活の中で様々な経験をし、その経験を通していろいろなことを学びました。しかし、最近はそのような経験をする機会も少なくなり、学校教育の中で地域の自然や特色を生かした体験学習を行い、その中から日本の伝統文化や先人の知恵を学んだりしています。西大路小学校では、毎年、この体験学習で多くの地域の方々にお世話になっています。みなさんにご協力をいただき、「たんぼのこ」「環境学習」「書写」「炭焼き体験」「お茶摘み体験」など、いろいろな学習を行っています。

5月16日には、木田製茶さんのご協力で、3年生がお茶摘み体験を行いました。昔はどこの家でもあった茶畑ですが、年々少なくなっています。また、身近な所に茶畑があっても、子どもたちの意識の中では、毎日、自分たちが飲んでいるお茶とは結びついていないようです。当日は、



お茶の話聞く3年生

自分が摘んだお茶の葉から入れたお茶を子どもたちは楽しそうに味わっていました。今後、お茶の学習は、製茶工場の見学、お茶の種類やお茶の入れ方の学習へと続いていきます。

また、5月23日には「たんぼのこ」の学習がスタートしました。この学習では、子どもたちが昔ながらの米作りに挑戦し、その体験から日本人の主食である米作りの大変さや工夫などを学んでいきます。蔵王にお住まいの仲上さんのご指導のもと、5年生の子どもたちが代かきの終わった田んぼに素足まま入り、田植えを行いました。多くの子どもたちにとっては、素足でたんぼに入った経験もなく、土の冷たさや「ぬるっ」とした感触に触れることも初めてのことでした。横1列に並

び、ひもに合わせて30cmずつ後ずさりしながら苗を植えていきました。うつむきながら横との間隔も気にしつつ行う田植えは子どもたちにとっても



初めての田植えの体験

は鎌を使っての稲刈り作業や千歯扱き、足踏み脱穀機を使って脱穀も行います。たくさんの「こしひかり」が収穫できることを楽しみにしています。

幼稚園との

5・5交流も始まりました!!

小学校では、総合的な学習の時間を利用して5・5交流をおこなっています。5・5交流とは、来年小学校に入学する幼稚園の5才児さんと来年には6年生になる小学校5年生の子どもたちとの交流学習を言います。

西大路小学校では、小学校と幼稚園がすぐ近くにあることから、5・5交流、音楽会、運動会、学習フェスタなど、年間を通じて多くの機会に交流を行っています。このような交流を通じて、5才児さんは、小学校への入学を意識し、少しずつ心の準備をしていきます。また、5年生にとってはお兄さん、お姉さんとしての力を発揮する機会にもなり、とてもやさしく園児に接してくれています。よく「小一プロブレム」と言われ、



5・5交流のサツマイモ植え

入学間もない1年生が小学校に

適応できないなどの問題が指摘されていますが、5・5交流などによって少しでも小学校への入

学やその後の適応がスムーズになるように考えています。

(校長 深井 実)

お知らせ!!

西大路小学校のホームページを新しくしました。ブログを開設し、保護者や地域の皆様に日々の子どもの様子をお伝えします。ぜひ、一度ご覧ください。よろしくお願いたします。